

平成29年度 事業報告

公益財団法人 日本レクリエーション協会

もくじ

平成29年度事業総括	3
1. レクリエーション運動を担う人材の育成	4
(1) レクリエーション研修	
(2) 公認指導者養成	
(3) 課程認定校での公認指導者養成	
(4) 公認指導者の審査、登録	
2. 指導者の活動支援と地域組織支援	11
(1) 指導者の再教育	
(2) 情報提供	
(3) 活動支援及び拠点整備	
(4) 公認指導者資格の更新	
3. レクリエーションの普及・啓発	15
(1) 全国イベント・啓発	
(2) 生涯スポーツ推進及びその他レク普及	
(3) 震災被災地域等での支援活動（[笑顔 Again] プロジェクト）	
4. スポーツ・レクリエーション用具・書籍の開発・普及	21
5. その他 法人事務	22
平成29年度 都道府県別公認指導者数一覧	23

平成29年度事業総括

平成29年度は、スポーツ・レクリエーション事業の推進とレクリエーション・インストラクターの新カリキュラムの普及、レクリエーション支援の手法を広く知ってもらうための研修事業、公認指導者への情報提供の充実に力点を置きながら、「1. レクリエーション運動を担う人材の育成・強化」、「2. 指導者の活動支援と地域組織支援」、「3. レクリエーションの普及・啓発」、「4. スポーツ・レクリエーション用具・書籍の開発・普及」に取り組んだ。

スポーツ・レクリエーション事業については、スポーツ・レクリエーション指導者の養成を正式に開始し、これまでの補講講習や課程認定校での養成により、777人が資格を取得した。「健康スポレクひろば普及推進事業」は、実施地域を昨年度の全国23カ所から42カ所に拡大でき、引き続き地域の健康づくりとスポレク指導者の活動の場として、拡大を目指す。また、スポーツ庁の「スポーツ医・科学等を活用した健康増進プロジェクト」事業の受託により、スポーツ・レクリエーション活動を主体としたプログラムを開発。心身機能や認知機能を高めることも検証でき、今後、健康スポレクひろばや介護予防などでの普及を図る。

レクリエーション・インストラクターの養成については、「心を元気にする」ための支援方法をまとめた新カリキュラムについて、講師の手引きや養成ハンドブック、資料集を都道府県協会に配布。新カリキュラムの研修会も東京、大阪で各2回開催したほか、13道県の研修会に職員を派遣し、947人の講師を養成した。

心を元気にするためのレク支援の手法を広く周知するために、昨年度に続き教員のための講習会も実施した。22都府県で2,100人（前年度・16都府県、1,600人）が参加した。

レク・インストラクターの養成は4,924人に止まった（前年度5,459人）。都道府県レク協会での養成は763人（前年度895人）、課程認定校4,147人（前年度4,547人）となり、取得者数は前年度より535人減少した。資格の更新は全体で29,861人の予定者に対し20,297人が更新し（68%・前年度69.3%）、全体の公認指導者数は昨年度より3,955人減少し、58,430人（前年度62,385人・前々年度3500人減）となった。

こうした公認指導者数の減少傾向に対して、公認指導者への情報提供を充実させ、つながりを強める仕組みづくりに取り組んだ。スマートフォン等で様々なレク活動の情報を見ることができ、更新手続き等も行えるサイト「レクぼ」を構築。これまでの発行物なども閲覧できるようにするなど、コンテンツの充実化を図っているほか、今後は都道府県協会からの情報提供、公認指導者の活動等の発信、用具・書籍の販売サイトとの連携等も行う。

また、レク・インストラクター・スキルアップ制度（仮）を設け、経験の深まりや実践を評価する仕組みと、レク支援の良さを短い時間で体験でき、公認指導者の裾野を広げるための基礎研修プログラムについての検討も始めた。平成30年度は、これらの試みについて都道府県協会等との検討を重ねながら実施し、実践力のある公認指導者の増加と裾野の拡大に取り組みたい。

1. レクリエーション運動を担う人材の育成

(1) レクリエーション研修

レクリエーション支援の手法を幅広く知ってもらうために、教員を対象とした「教員のためのレクリエーション講習会」を行った。

本事業は、文部科学省より教員免許状更新講習開設者の認定を受け、夏に2種の講習（選択領域12時間と6時間）及び、秋・冬に2種の講習（各6時間）を開催した。夏は全22都府県、秋・冬は首都圏にて、開催地レクリエーション協会の協力のもと実施し、延べ2,154名の教員が受講し、高い受講評価が得られた

①コミュニケーション力を高めるレクリエーション活用の体験学習（12時間）：夏

開催市町村	開催日	参加人数
青森県青森市	平成29年8月16日～8月17日	45人
宮城県仙台市	平成29年8月8日～8月9日	66人
福島県福島市	平成29年7月25日～7月26日	14人
埼玉県上尾市	平成29年7月25日～7月26日	43人
千葉県千葉市	平成29年8月2日～8月3日	50人
神奈川県藤沢市	平成29年8月21日～8月22日	69人
東京都渋谷区	平成29年8月1日～8月2日	64人
東京都渋谷区	平成29年8月16日～8月17日	41人
福井県福井市	平成29年8月1日～8月2日	8人
岐阜県岐阜市	平成29年8月2日～8月3日	12人
静岡県島田市	平成29年8月8日～8月9日	39人
愛知県名古屋市	平成29年8月17日～8月18日	82人
三重県四日市市	平成29年8月24日～8月25日	25人
滋賀県竜王町	平成29年8月2日～8月3日	33人
大阪府大阪市	平成29年8月22日～8月23日	92人
兵庫県明石市	平成29年7月28日～7月29日	89人
広島県広島市	平成29年8月21日～8月22日	49人
山口県山口市	平成29年8月3日～8月4日	24人
愛媛県松山市	平成29年8月17日～8月18日	18人
福岡県福岡市	平成29年8月21日～8月22日	31人
大分県大分市	平成29年8月2日～8月3日	30人
鹿児島県鹿児島市	平成29年8月8日～8月9日	25人
沖縄県嘉手納町	平成29年8月3日～8月4日	25人
合計		974人

②楽しく子どもたちの体力向上を図るレクリエーションの体験学習（6時間）：夏

開催市町村	開催日	参加人数
青森県青森市	平成 29 年 8 月 18 日	44 人
宮城県仙台市	平成 29 年 8 月 7 日	64 人
福島県福島市	平成 29 年 7 月 27 日	18 人
栃木県宇都宮市	平成 29 年 8 月 23 日	14 人
埼玉県上尾市	平成 29 年 7 月 27 日	52 人
千葉県千葉市	平成 29 年 8 月 4 日	59 人
神奈川県藤沢市	平成 29 年 8 月 23 日	76 人
東京都港区	平成 29 年 7 月 31 日	79 人
東京都港区	平成 29 年 8 月 18 日	42 人
岐阜県岐阜市	平成 29 年 8 月 4 日	15 人
静岡県島田市	平成 29 年 8 月 10 日	38 人
愛知県名古屋市	平成 29 年 8 月 19 日	73 人
三重県四日市市	平成 29 年 8 月 23 日	24 人
滋賀県竜王町	平成 29 年 8 月 1 日	46 人
大阪府大阪市	平成 29 年 8 月 24 日	102 人
兵庫県明石市	平成 29 年 7 月 30 日	107 人
広島県広島市	平成 29 年 8 月 23 日	49 人
山口県山口市	平成 29 年 8 月 5 日	34 人
愛媛県松山市	平成 29 年 8 月 19 日	14 人
福岡県福岡市	平成 29 年 8 月 23 日	31 人
大分県大分市	平成 29 年 8 月 4 日	29 人
鹿児島県鹿児島市	平成 29 年 8 月 10 日	19 人
沖縄県嘉手納町	平成 29 年 8 月 5 日	23 人
合計		1,052 人

③レクリエーションの教育的効果（6時間）：秋・冬

開催市町村	開催日	参加人数
東京都渋谷区	平成 29 年 11 月 23 日	23 人
神奈川県横浜市	平成 29 年 12 月 9 日	11 人
埼玉県上尾市	平成 30 年 1 月 21 日	8 人
千葉県千葉市	平成 30 年 3 月 21 日	26 人
神奈川県横浜市	平成 30 年 3 月 24 日	13 人
合計		81 人

④楽しく体力向上を図るレクリエーションプログラムの体験学習（6時間）：秋・冬

開催市町村	開催日	参加人数
東京都渋谷区	平成 29 年 12 月 2 日	17 人
千葉県千葉市	平成 30 年 2 月 12 日	30 人
合計		47 人

(2) 公認指導者養成

レクリエーション・インストラクターの新カリキュラムの普及、専門資格（レク・コーディネーター、福祉レク・ワーカー）の養成を行い、資格認定委員会を開催した。

①レクリエーション・コーディネーター養成

地域でのレクリエーション活動や都道府県レクリエーション協会の事業のマネジメントをする人材の育成を目指し、レクリエーション・コーディネーターの養成に取り組んだ。

平成 29 年度のスクーリングは宮城県レクリエーション協会と連携し、実際に行われている事業を題材に講習会を実施した。

○通信教育課程新規受講生 32 名

○講習会：宮城県にてA、B、Cの3コースを開催

回数	開催地	開催日程	会場	
80	宮城県A	8月19日～20日	フォレスト仙台	32名
81	宮城県B	10月14日～15日	フォレスト仙台	31名
82	宮城県C	12月2日～3日	フォレスト仙台	31名
合 計				94名

②福祉レクリエーション・ワーカー養成

介護等の福祉領域の援助計画と連動したレクリエーション支援ができ、レクリエーション活動を通して高齢者・障がい者の社会参加を促進する人材の育成を目指して、福祉レクリエーション・ワーカーの養成に取り組んだ。

平成 29 年度のスクーリングは鹿児島県、東京都で開催。既に資格を取得した福祉レクリエーション・ワーカーが講師等として関わる機会を設け、資格取得後のネットワークづくりにも力を入れた。

○通信教育課程新規受講生 30 名

○スクーリング：A、B、Cの3コースを開催

回数	開催地	開催日程	会場	A	B	C
201	鹿児島A	8月26日～27日	鹿児島女子短期大学	17名		
202	東京A	9月2日～3日	日本体育大学	14名		
203	鹿児島B	10月14日～15日	鹿児島女子短期大学		18名	
204	東京B	11月4日～5日	日本体育大学		13名	
205	鹿児島C	11月25日～26日	鹿児島女子短期大学			17名
206	東京C	12月16日～17日	日本体育大学			11名
合 計				31名	31名	28名

③資格認定委員会の開催

レクリエーション・インストラクター、レクリエーション・コーディネーター、福祉レクリエーション・ワーカーの資格認定審査、平成 30 年度新規課程認定校審査について審議を行った。

また、レクリエーション・インストラクター課程認定校優秀学生表彰制度、レクリエーション・インストラクター階梯制度の検討も行った。

○資格認定委員会委員

福田 芳則（委員長） 岡山 千賀子 川延 宗之 小池 和幸
松尾 哲矢 吉田 伊津美 小田原 一記 （敬称略）

○第1回委員会

平成29年11月21日（火）15:00～17:00 日本レクリエーション協会

○第2回委員会

平成30年2月27日（火）14:00～17:00 日本レクリエーション協会

○第3回委員会

平成30年3月30日（金）14:00～16:00 日本レクリエーション協会

④レクリエーション・インストラクター学習内容の普及、カリキュラム移行支援

④-1. カリキュラム移行支援

平成29年度レクリエーション・インストラクターカリキュラム（以下、平成29年度カリキュラム）の『講師の手引き』、養成講習会実施のための『養成ハンドブック』、養成講習会の補助教材としてレクリエーション活動を掲載した『資料集』を作成し、下記の研修会等で配布した。

④-2. 平成29年度カリキュラムの研修会の実施（学習内容の普及）

平成29年度カリキュラムを普及するために、4会場で主催研修会を開催。また、13道県及び市のレク協会が主催する研修会に職員を派遣した。これらの研修にて947名に修了証を付与した。

※平成30年3月末現在。（平成29年度カリキュラムでの養成講習会は、日本レクリエーション協会主催または都道府県レクリエーション協会および市区町レクリエーション協会主催で日本レクリエーション協会職員を講師とした研修会を修了した者を講師の要件としている。

○日本レクリエーション協会主催

東京会場前期（7月23日）／東京会場後期（11月11日）

大阪会場前期（9月23日）／大阪会場後期（1月14日）

○主催研修実施都道府県レクリエーション協会および市区町レクリエーション協会
長崎／岐阜／愛知／函館／鳥取／島根／北海道／香川／京都／青森／大分／広島／北九州

④-3. 平成29年度カリキュラムによるレクリエーション・インストラクター養成

平成29年度カリキュラムによる養成の検証と、全国レクリエーション大会の開催を控えた宮城県レク協会、高知県レク協会の人材育成を目的に、レク・インストラクター養成を両県にて行った。

○宮城県会場

申込者数：11名

開催日程：①12月9日（土）、②2月10日（日）、③12月27日（土）、④1月28日（日）、⑤2月24日（土）、⑥2月25日（日）

開催場所：多賀城市中央公民館

○高知県会場

申込者数：18名

開催日程：＜中央会場＞①9月10日（日）、②10月1日（日）、③10月15日（日）、④11月12日（日）、⑤12月10日（日）、⑥2月4日

＜県西会場＞⑥1月13日（土）

＜県東会場＞⑥1月14日（日）※⑥回目のみ県西、県東でも開催。

開催場所：高知県立青少年センター、南国市立日章福祉交流センター、前浜防災コミュニティセンター／四万十市中央公民館／田野町ふれあいセンター

（3）高等教育機関での公認指導者養成

専門学校、短大、大学等の公認指導者養成課程の審査、認定を行い、課程認定校の学習の支援、教員のためのレクリエーション・インストラクター養成講習会を行った。また、課程認定校制度及びスポーツ・レクリエーション指導者養成課程の広報も行った。

①課程認定校での公認指導者養成

「公認指導者養成制度」に基づき、大学、短期大学、専門学校の312課程を認定し、公認指導者の養成を行った。また、平成30年度の課程認定審査を行い、308課程を認定した。

○平成29年度課程認定校 養成課程数

養成する資格種別	養成課程数
レクリエーション・インストラクター認定校	278課程
スポーツ・レクリエーション指導者	2課程
余暇開発士認定校	0課程
レクリエーション・コーディネーター認定校	11課程
福祉レクリエーション・ワーカー認定校	21課程
合計	312課程

○平成30年度課程認定校 養成課程数

養成する資格種別	養成課程数
レクリエーション・インストラクター認定校	264（新規：6、減少：20）
スポーツ・レクリエーション指導者	15（新規：13、減少：0）
余暇開発士認定校	0（新規：0、減少：0）
レクリエーション・コーディネーター認定校	11（新規：0、減少：0）
福祉レクリエーション・ワーカー認定校	18（新規：0、減少：3）
合計	308課程（新規19、減少23）

※（ ）内は、平成30年度の新規課程数、および減少した養成課程数

②課程認定校の支援

養成課程を担当する教員への情報提供や教授法の共有などを目的として、レクリエーション・コーディネーター養成課程認定校及び福祉レクリエーション・ワーカー養成課程認定校の合同集会を、課程認定校研究連絡会議と共催した。

各資格を養成する担当教員をパネリストに招き、養成のねらいや学習の有効性、将来像について語ってもらい、フロアとの意見交換を実施した。

○日時・場所：平成29年9月16日（土） 函館短期大学にて開催

③課程認定校教員のためのレクリエーション・インストラクター養成講習会

課程認定校での教員の異動等により、急遽レク・インストラクター資格が必要になった教員に対して、事前課題の提出および短期集中型の集合学習による養成講習会を開催した。

この講習会は教員に限定していることから、平成29年度カリキュラムの学習内容を理解したうえで、それらを学生に教えるための演習や授業案作成などを行い、参加した教員の教授力向上にも寄与する機会となった。

○集合学習：12月23日（土）～24日（日）／2月10日（土）～11日（日）

○会場：日本レクリエーション協会 会議室

○参加者数：15名

④課程認定校制度及びスポーツ・レクリエーション指導者等の広報

課程認定校制度およびスポーツ・レクリエーション指導者資格の情報を提供するために、ポスター（2種類）とブックレットを作成。ポスターは都道府県レクリエーション協会、大学・短大・専門学校（300校）に配布。ブックレットは都道府県レクリエーション協会、平成29年度資格取得者に配布した。

また、スポーツ・レクリエーション指導者養成課程に関する紹介パンフレットを作成し、スポーツ学科を設置する全国352校に配布。希望校に課程認定に関する案内をした。なお、スポーツ・レクリエーション指導者資格については、「体協 JOC 運動記者クラブ」においても、ニュースリリース及び資料の配布・説明を行った。

○ポスター

タイトル：レクリエーションは笑顔のはじまり

内容：レクリエーション活動が介護・福祉、保育・教育、健康・スポーツのさまざまな分野で役立つこと等を紹介

○レクリエーション・ブックレット

内容：レクリエーション運動を通じた社会貢献、スポーツ・レクリエーションを通じた元気づくり、公認指導者制度等を紹介

○スポーツ・レクリエーション指導者紹介パンフレット

内容：スポーツ・レクリエーション指導者養成課程のカリキュラム等を紹介。課程認定制度や認定基準に関する情報も提供。

（4）公認指導者の審査、登録

公認指導者資格の審査及び認定登録を行った。

①レクリエーション・インストラクターの審査・認定登録

区分	審査期日・会場	登録者数
一般	各都道府県レクリエーション協会で開催	763名
課程認定校	各学校の学内審査により実施	4,147名

その他	課程認定校教員のための養成講習会／日本レク協会で実施	14名
合計		4,924名

参考：平成28年度 レクリエーション・インストラクターの審査・認定登録

区分	審査期日・会場	登録者数
一般	各都道府県レクリエーション協会で開催	895名
課程認定校	各学校の学内審査により実施	4,547名
その他	課程認定校教員のための養成講習会／日本レク協会で実施	17名
合計		5,459名

②スポーツ・レクリエーション指導者の審査・認定登録

区分	審査期日・会場	登録者数
一般	日本レク協会と福島県レク協会で開催	756名
課程認定校	各学校の学内審査により実施	21名
合計		777名

③レクリエーション・コーディネーターの審査・認定登録

区分	審査会期日・会場	受験者数	合格者数	登録者数
	10月14日(土) 鹿児島会場 鹿児島女子短期大学	7名	7名	7名
	1月28日(日) 宮城県会場 フォレスト仙台	15名	13名	13名
	2月25日(日) 岐阜県会場 ワークプラザ岐阜	13名	12名	12名
一般合計		35名	32名	32名
課程認定校 (6校)	各学校の学内審査により実施	60名	59名	56名
合計				88名

④福祉レクリエーション・ワーカーの審査・認定登録

区分	審査会期日・会場	受験者数	合格者数	登録者数
	2月4日(日) 鹿児島会場 鹿児島女子短期大学	15名	15名	15名
	2月18日(日) 東京会場 日本体育大学	10名	10名	10名
一般合計		25名	25名	25名
課程認定校 (20校)	各学校の学内審査により実施	161名	147名	148名
				173名

2. 指導者の活動支援と地域組織支援

(1) 指導者の再教育

スポーツ・レクリエーション指導者養成講習会(補講講習会)

スポーツを活用したレクリエーション活動を用いて、普段運動をしていない人たちを含め、誰もがスポーツ・レクリエーション活動を継続的に楽しめるよう支援する「スポーツ・レクリエーション指導者」の学習内容及びテキストを用いて、レクリエーション・インストラクター及びレクリエーション・コーディネーター資格を持つ公認指導者を主な対象とした講習会を開催した。

本講習会は全国6ブロック7都県で、2日間（12.5時間）の日程で行い、学習を修了した300名に修了証書を交付した。

都道府県	開催日	会場	受講者数
宮城県	11月11日（土）、12日（日）	宮城総合運動公園 グランディ・21 ひとめぼれスタジアム宮城	34名
東京都	9月23日（土）、24日（日）	国立オリンピック記念青少年総合センター	46名
富山県	10月21日（土）、22日（日）	富山県民会館	26名
長野県	11月18日（土）、19日（日）	松本大学	39名
岐阜県	12月23日（土）、24日（日）	池田町中央公民館	74名
山口県	11月25日（土）、26日（日）	小郡ふれあいセンター	36名
大分県	1月27日（土）、28日（日）	大分南部公民館	45名

(2) 情報提供

ウェブ情報提供サイト「レクぼ」を開設し、情報誌 Recrew（レクルー）、専門情報誌 Rec-site（レクサイト）を発行した。

①ウェブ情報提供サイト「レクぼ」の開設

平成29年11月9日に「レクぼ」（レクリエーション・ポータルサイト）を開設・公開した。

本サイトにてインターネットを介して様々なレクリエーション活動やこれまでの発行物の情報を提供するほか、ソーシャルログイン機能、公認指導者資格証表示、登録情報の変更手続き、「マイニュース（公認指導者向けお知らせ通知機能）」、「マイレク（お気に入りコンテンツリスト登録）」等の機能も設けた。

平成29年度は、「あそび事典」等の既存コンテンツや、過去の日本レク協会発行物を活用し、1,077のコンテンツを公開した。

レク活動510コンテンツ	レクリエーション・ゲーム	139	記事567コンテンツ	レク広報誌	133
	介護レク	89		ガイドブック・ムック	0
	認知症レク	63		特集・読み物	0
	手作りさん(クラブ・塗り絵)	46		研究調査データ	411
	季節のレクリエーション	6		各種事業報告書	0
	子ども向けレク	180		全国大会報告書	22
	トレーニング・エクササイズ	100			
	アウトドア	16			
	ニュースポーツ	75			

②情報誌Recrew(レクルー)の発行

レクリエーション活動に関わる人たち、機関、公認指導者に、役立つプログラムやノウハウ、用具等の情報を提供するために、情報誌 Recrew (レクルー) を発行した。

毎月・年6回発行。特集では、みんなで楽しめるスポーツ・レクリエーション活動の活用・効果や、レクリエーション活動を用いることの多い介護領域での活用方法等を伝えた。

号 別	特 集
平成 29 年 4 月号	レクリエーションを学んでみよう
平成 29 年 6 月号	I C F とレクリエーション
平成 29 年 8 月号	体操の楽しみ方
平成 29 年 10 月号	スポーツ・レクリエーションの未来
平成 29 年 12 月号	北の大地から届けるレクリエーション
平成 30 年 2 月号	岐阜県発 スポーツ・レクリエーション行政

③専門情報誌「Rec-site (レクサイト)」の発行

レクリエーション・コーディネーター、福祉レクリエーション・ワーカー等、専門性を高めてレクリエーション活動を提供する人たちに向けて、専門専門情報誌 Rec-site (レクサイト) を発行した。

11号は、過去に好評だった「レクの科学」の最新版を制作。12号は、スポレク指導者が活用しやすく、介護予防の現場で活用できるプログラムを特集し、現場のレポートも掲載した。

号別	発 行	特 集
Vol. 11	平成 29 年 8 月 10 日	レクの科学 ver. 2
VOL. 10	平成 30 年 2 月 10 日	スポーツ・レクリエーションで健康になる

(3) 活動支援及び拠点整備

①加盟団体運営代表者会議

日本レクリエーション協会に加盟する都道府県レクリエーション協会、種目団体、領域団体の運営代表者が一堂に会し、レクリエーション運動の方向性や課題について検討する平成 29 年度加盟団体運営代表者会議を 2 日間にわたり東京において開催した。

本会議では都道府県レクリエーション協会、種目団体の2つの分科会に分かれ（領域団体はいずれかに参加）、次年度の事業方針の確認と、それぞれが抱える課題についての議論、情報交換を行った。

○期 日 平成29年12月6日（水）～7日（木）

○開催会場 国立オリンピック記念青少年総合センター

②ブロック会議

人材養成事業の活性化策の検討をはじめ、都道府県レクリエーション協会との連携・協調を深めるために、6月にブロック会議を開催し、役職員を派遣した。

また、ブロック内の連携・協力体制づくりのため、ブロック幹事県に対してブロック運営費を助成した。

ブロック名	日 程	開催地	幹事県
北海道・東北	6月17日(土)～18日(日)	盛岡市	岩手県
関東・甲信越	6月23日(金)	宇都宮市	栃木県
東海・北陸	6月18日(日)～19日(月)	高山市	岐阜県
近畿	6月24日(土)	和歌山市	和歌山県
中国・四国	6月16日(金)～17日(土)	徳島市	徳島県
九州・沖縄	6月17日(土)～18日(日)	宮崎市	宮崎県

③あそびの城づくり推進事業（参加登録地区の把握）

平成16年度より文部科学省の「子どもの居場所づくり推進事業（事業委託／3カ年）」としてスタートした「あそびの城」づくり推進事業は、平成19年度から自主的なレクリエーション事業として全国で展開している。平成29年度も趣旨に賛同し、活動を継続する25地区の都道府県・市町村レクリエーション協会や公認指導者のグループの活動状況を把握するとともに、広報ツール類を送付した。

（4）公認指導者資格の更新

①公認指導者資格の更新（平成30年3月31日現在）

資格名	予定者数	更新者数	更新率
レクリエーション・インストラクター	25,915名	17,087名	65.9%
余暇開発士	343名	304名	88.6%
レクリエーション・コーディネーター	1,226名	1,101名	89.8%
福祉レクリエーション・ワーカー	2,377名	1,805名	75.9%
のべ人数	29,861名	20,297名	68.0%

②公認指導者数（平成30年3月31日現在）

資格名	人数
レクリエーション・インストラクター	50,313名
スポーツ・レクリエーション指導者	777名
余暇開発士	569名
レクリエーション・コーディネーター	2,409名
福祉レクリエーション・ワーカー	4,362名
合計	58,430名

参考：公認指導者資格の更新（平成29年3月31日現在）

資格名	予定者数	更新者数	更新率
レクリエーション・インストラクター	26,408名	17,766名	67.2%
余暇開発士	322名	268名	86.2%
レクリエーション・コーディネーター	1,261名	1,139名	90.3%
福祉レクリエーション・ワーカー	2,491名	1,948名	78.2%
のべ人数	30,482名	21,121名	69.2%

参考：公認指導者数（平成29年3月31日現在）

資格名	人数
レクリエーション・インストラクター	54,536名
余暇開発士	620名
レクリエーション・コーディネーター	2,461名
福祉レクリエーション・ワーカー	4,768名
合計	62,385名

3. レクリエーションの普及・啓発

(1) 全国イベント・啓発

第71回全国レクリエーション大会 in 北海道、全国一斉「あそびの日」キャンペーン2017、ホームページの管理運営を通じた普及・啓発活動を行った。

①第71回全国レクリエーション大会 in 北海道

「北の大地 ふくらむ ひろがる レクの輪」をスローガンに、第71回全国レクリエーション大会を北海道（函館市を中心とする道南地域と恵庭市）で開催した。

開会式のアトラクションでは幼稚園児、高校生、大学生、成人、高齢者が様々なパフォーマンスを繰り広げ、スローガンのとおり子どもから高齢者までレクの輪が広がり、同時に手づくりのおもてなしにぬくもりと感動を感じる開会式となった。

大会2日目からは9種目の全国交流大会、36のセッションからなる研究フォーラム、4種目の特別協賛行事等を実施し、全国から延べ1万人を超える参加者を集まった。

- 主 催：(公財) 日本レクリエーション協会、北海道レクリエーション協会、北海道、北海道教育委員会、開催市町・教育委員会・レクリエーション協会
- 共 催：スポーツ庁
- 後 援：総務省、環境省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、林野庁、人事院(財) 日本宝くじ協会、(公財) 日本体育協会、(公社) 全国スポーツ推進委員連合、(社福) 全国社会福祉協議会、(一社) 日本新聞協会、(公財) 健康・体力づくり事業財団他
- 開催市町：函館市、北斗市、恵庭市、七飯町、森町
- 期 日：平成29年9月15日(金)～9月17日(日)
- 参加者：10,252名(3日間の延参加者)
- 内 容：「研究フォーラム」「種目別全国交流大会」「開会式、式典」「交歓の夕べ」「特別行事」「特別協賛行事」「協賛行事」

②全国一斉「あそびの日」キャンペーン2017

「あそび」を通して子どもたちを育み、家族のふれあい、地域の交流等を促進するために、5月を中心とした約2ヵ月間をキャンペーン期間とし、全国各地で「あそびの日」を設け、さまざまな「あそび」の場を提供する「全国一斉『あそびの日』キャンペーン2017」(14回目)を開催した。

平成29年度は「2020年の夢が始まる！」をテーマとし、日本レクリエーション協会加盟団体をはじめ、共催団体として、日本ユースホステル協会、公園財団、休暇村協会にも参画いただき、全体で4,669プログラムを展開。全国で288,375人の参加者があった。

- テーマ 2020年の夢が始まる！
- 開催期間 4月15日(土)～6月11日(日)
- 主 催 公益財団法人 日本レクリエーション協会
- 共 催 都道府県レクリエーション協会／一般財団法人 日本ユースホステル協会
一般財団法人 休暇村協会／一般財団法人 公園財団

○全国後援 文部科学省／厚生労働省／総務省／全国市長会／全国町村会／
社会福祉法人 全国社会福祉協議会

○協力 独立行政法人 国立青少年教育機構

○プログラムの内容

子どもたちと家族がふれあい、きずなが深まり、地域住民のつながりが生まれる
様々な「あそび」の活動、イベントを展開。

スポーツ大会／体験イベント／自然あそび／クラフト／料理づくり／昔あそび
ウォーキング・イベント／踊り／ダンス／体操の会／運動会／チャレンジゲーム大
会など、大小さまざまな活動やイベントを実施

○キャンペーン実施プログラム数、および参加者数

団体名	プログラム数	参加者総数(人)
(公財) 日本レクリエーション協会	270	68,814 人
(一財) 日本ユースホステル協会	660	71,756 人
(一財) 休暇村協会	3,624	40,890 人
(一財) 公園財団	60	92,933 人
(独立) 国立青少年教育機構	55	13,982 人
合計	4,669	288,375 人

③ホームページ等のインターネットを活用した情報配信

ソーシャルメディアであるフェイスブック、ツイッターを用いて、日々の情報配信を実
施した。

公式 WEB サイトである「recreation.or.jp」は、当会の業務や資格に関する情報配信サ
イトとして管理運営を行った。また、事業ごとに設置されている専門サイト（都道府県レ
クリエーション協会サイト、課程認定校サイト、サービスセンターサイト等）についても、
情報修正や配信等が円滑に行われるよう管理した。

(2) 生涯スポーツ推進及びその他レク普及

「健康スポレクひろば」普及推進事業、スポーツ・レクリエーション活動を通じた健康寿
命延伸事業、チャレンジ・ザ・ゲームの普及事業等、9 事業に取り組んだ。

①「健康スポレクひろば」普及推進事業

高齢化が進むなかで、スポーツ・レクリエーション活動を通して健康長寿社会を実現す
る試み「健康スポレクひろば」普及推進事業に取り組んだ。

スポーツに親しんでいない高齢者（スポーツ未実施者）の参加促進と、その後の継続的
な活動を促すことをねらいとして、全国 42 カ所（新規地区 16 カ所、継続地区 13 カ所、
自主地区 13 カ所）で実施。平成 30 年度も実施地区を拡大し、全国 59 カ所（新規地区 21
カ所、継続地区 16 カ所、自主地区 22 カ所）で実施する予定。

都道府県	開催市町村	助成区分	会場	参加者数
青森県	むつ市	新規	海老川コミュニティセンター	35 名
秋田県	大館市	新規	大館市北地区コミュニティセンター	42 名

	東成瀬村	新規	地域交流センターゆるるん	35名
茨城県	城里町	継続	城里町常北中央公民館	30名
千葉県	茂原市	新規	茂原市役所市民室・茂原市体育館	39名
神奈川県	相模原市	新規	上溝公民館コミュニティ室	30名
	座間市	継続	座間市総合福祉センター、座間市栗原憩いの家	30名
新潟県	上越市	継続	謙信交流館・ゆったりの郷	36名
	新潟市西区	継続	新潟市小針青山公民館・新潟市西総合スポーツセンター	27名
	新潟市中央区	継続	ビッグスワンスタジアム屋内・周辺他	27名
富山県	氷見市	継続	間島談笑室	31名
石川県	能美市	新規	能美市松が岡地区 弥生会館	43名
	金沢市	継続	金沢市矢木会館	17名
福井県	勝山市	新規	滝波ふれあい会館	25名
山梨県	山梨市	新規	八幡公民館	9名
	北杜市	継続	北杜市長坂総合支所 2階	66名
	南アルプス市	継続	百々公民館	47名
静岡県	島田市	新規	初倉地域総合センター	33名
大阪府	大阪市	新規	御崎福祉会館	40名
兵庫県	淡路市	新規	尾崎会館	30名
山口県	宇部市	新規	西ヶ丘自治会館	43名
徳島県	徳島市	新規	徳島市ふれあい健康館	25名
香川県	丸亀市	新規	飯野コミュニティセンター	72名
愛媛県	松山市	継続	久米公民館	36名
福岡県	大木町	継続	蛭池公民館	40名
	筑紫野市下見地区	継続	下見公民館	36名
	筑紫野市筑紫地区	継続	筑紫公民館	70名
熊本県	熊本市北区	新規	植木文化センター	35名
宮崎県	都城市	新規	都城市妻ヶ丘地区公民館	20名

②スポーツ医・科学等を活用した健康増進プロジェクト

(スポーツ・レクリエーション活動を通じた健康寿命延伸事業)

スポーツ庁から受託を受け、スポーツ・レクリエーション活動を通じて高齢者が健康づくりに取りみ、健康寿命の延伸につながるプログラムの開発、効果検証調査・分析を実施した。

○実施期間：平成29年9月15日～平成30年3月31日

○プログラムの開発と実施

高齢者が体を動かすことを楽しみ、無理なく継続できるソフトスポーツを主体としたスポレクプログラムを開発。5地区において3カ月間、10回にわたって実施した。

○効果検証調査・分析

同プログラム実施の前後で、参加したグループと参加しないグループについて、身体機能、社会心理、認知機能に関する測定を行い、効果を検証。学識経験者による分析から身体及び認知機能の向上、心理的効果という点で効果があることが明らかとなった。

○報告書作成・配布

「平成 29 年度 スポーツ医・科学等活用した健康増進プロジェクト（スポーツ・レクリエーション活動を通じた健康寿命延伸事業）報告書」をまとめ、都道府県のスポーツ振興担当部署、高齢者福祉担当部署、介護予防担当部署に配布した。

○実施 5 地区

実施地区	実施団体	参加者数
宮城県富谷市	健康スポレクひろば「健幸度 UP 遊悠クラブ」	50 名
千葉県船橋市	健康スポレクひろば	14 名
福井県福井市	サークル花堂	24 名
愛知県西尾市	ニューエルダー元気クラブ「つるしろ」	27 名
愛媛県松山市	スポレクひろば 「しおみ」	33 名

③平成 29 年度子供の体力向上課題対策プロジェクト

平成 28 年度より開始されたスポーツ庁事業「子供の体力向上課題対策プロジェクト（テーマ 1：体力低下種目等の課題対策プログラムの開発等）」の指定を継続受託し、遊びを通じて体を動かす取り組みモデルの作成を目指して、遊びの効果を実証する研究を実施した。

○対象：都内公立小学校 3 校に在籍する第 5 学年児童（265 名）

※介入校 A（80 名：休み時間の長時間化の取組）、介入校 B（127 名：休み時間に大学生による遊び支援実施）、対照校（58 名）の 3 つに分類

○期間：平成 29 年 9 月～12 月

○内容：基本属性、体力・運動能力、身体活動、品格、感謝、QOL、運動遊びによる経験、学校内での遊び状況等の視点から比較

○結果：主な結果として、以下の成果が確認された。

- ・介入校 A における女子の 50m 走の記録向上、介入校 B における男子の 50m 走・ソフトボール投げ、女子の 50m 走の記録向上
- ・特に、普段から活発に運動している男子における投動作様式の顕著な向上
- ・介入校 A および B における取組実施日の身体活動量の増加
- ・休み時間の長時間化、遊び支援の取組実施による、児童の遊び種類の豊富化、遊び人数の増加（集団遊びの増加）
- ・特に、普段から活発に運動している児童における品格尺度項目の向上

④パラリンピック教育普及啓発事業

2020 年東京パラリンピック競技大会に向け、パラリンピック競技大会への関心を高め、障がい者と健常者が一緒に楽しむことができるスポーツ・レクリエーション活動の普及に向けたイベント開催をスポーツ庁より委託を受けて実施した。

○熊本県南関町

開催日時：平成 30 年 1 月 20 日（土曜日）13：00～17：00

開催場所：南の関うから館 大集会室及び駐車場

協力：（公財）日本障がい者スポーツ協会、日本パラリンピック委員会

後援：熊本県教育委員会、熊本県レクリエーション協会他

参加定員：300 名

○山梨県甲府市

開催日時：平成30年2月12日(祝) 13:00~16:00

開催場所：山梨学院大学 古屋記念堂

共催：山梨日日新聞社、山梨放送

協力：(公財)日本障がい者スポーツ協会、日本パラリンピック委員会

後援：山梨県教育委員会、山梨県社会福祉協議会、山梨県障害者福祉協会

参加定員：300名

○高知県高知市

開催日時：平成30年2月25日(日) 13:00~16:30

開催場所：イオンモール高知専門店街1階 南コート

共催：高知新聞社、RKC高知放送

主管：高知新聞企業

後援：高知県、高知県教育委員会、高知県社会福祉協議会、
高知県障がい者スポーツ指導者協議会、高知県レクリエーション協会

参加定員：300名

○主な内容

・ステージイベント

オリンピックやパラリンピアンによる講演、パラリンピック種目のデモンストラ
ーション等を実施。

・体験コーナー

パラリンピック種目、障がい者模擬体験、障がい者と健常者が一緒に楽しめるス
ポーツ・レクリエーション活動等の体験を実施。

・展示

障がい者スポーツ団体の活動報告や障がい者スポーツに関連する新聞記事・写
真、スポーツの世界記録・日本記録等を展示。

・参加者募集と取組の周知のための新聞広告の掲載

実施会場の参加者を募るために地元新聞を活用し、参加募集記事と当日の様子を
伝える報告記事を掲載。

⑤平成29年度「体育の日」中央記念行事

スポーツ庁やスポーツ関連団体と共に、スポーツ・レクリエーションの楽しさや喜びを
体験することにより、日常生活の中で主体的に運動・スポーツに親しむことの重要性を市
民に広く啓発することを目指した「体育の日」中央記念行事を実施した。特に加盟種目団
体(17団体)と共にレッツ・チャレンジ!おもしろスポーツコーナーを実施した。

○日時：平成29年10月9日(月・祝/体育の日) 9時15分~15時30分

○会場：国立スポーツ科学センター，味の素ナショナルトレーニングセンター，味の素
フィールド西が丘(東京都北区西が丘3-15-1)。

○主催：スポーツ庁，独立行政法人日本スポーツ振興センター，公益財団法人日本体育
協会，公益財団法人日本オリンピック委員会，公益財団法人日本レクリエーシ
ョン協会，公益財団法人日本障がい者スポーツ協会，NPO 法人日本オリン
ピアンズ協会，一般社団法人日本パラリンピアンズ協会，読売新聞社

○公式入場者数 17,000人

○結果 加盟種目団体（17 団体）と共にレッツ・チャレンジ！おもしろスポーツコーナーを担当したレッツ・チャレンジ！おもしろスポーツコーナー体験者数は、8,910 人となった。

⑥生涯スポーツ・体力づくり全国会議 2018

スポーツ振興に携わる関係者が一堂に会して、スポーツ立国の実現に向けて生涯スポーツ環境の整備などを検討する「生涯スポーツ・体力づくり全国会議 2018」を、スポーツ庁、関連団体と共に実行委員会構成団体として主催。第 2 分科会の企画運営と展示コーナー運営総括を担った。

○主 催：スポーツ庁、生涯スポーツ・体力づくり全国会議実行委員会【(公財)日本体育協会、(公財)日本レクリエーション協会、(公財)日本体育施設協会、(公財)スポーツ安全協会、(公社)全国スポーツ推進委員連合、(公社)スポーツ健康産業団体連合会、(公財)日本障がい者スポーツ協会、(公財)健康・体力づくり事業財団、広島市】

○後 援：体力づくり国民会議

○期 日：平成 30 年 2 月 2 日（金）10：00～19：00

○開催地：広島県広島市

○参加者：地方公共団体関係者、スポーツ・レクリエーション団体関係者、各種産業界関係者、学識経験者、その他関係者 他 約 700 名

○内 容：表彰式、全体会(シンポジウム)「ライフステージに応じたスポーツ活動の推進～スポーツ立国の実現に向けて～」、分科会（第 1 分科会～第 4 分科会）、展示、情報交換会

⑦総合型地域スポーツクラブ自立支援事業およびクラブマネージャー設置支援事業

平成 25 年に総合型地域スポーツクラブの創設支援事業により、柏市レクリエーション協会が中心となって設立した「かしわレクスポクラブあそびん」に対し、5 年目となる自立支援およびクラブマネージャー設置支援を行った。公認指導者や加盟団体の活動の場づくり、地域における生涯スポーツ振興の拠点となっている。

⑧チャレンジ・ザ・ゲーム指導者養成及び記録会

グループで交流しながら記録に挑戦する「チャレンジ・ザ・ゲーム」の普及審判員養成講習会を全国 3 会場にて開催した。

開催地	会場	開催日	参加人数
北海道	札幌市月寒公民館	平成 30 年 2 月 25 日	58 人
宮城県	登米上沼ふれあいセンター	平成 30 年 3 月 3 日	39 人
愛知県	愛知県スポーツ会館	平成 30 年 3 月 24 日	46 人

養成した普及審判員が中心となり、都道府県協会にて普及審判員等の養成が行われたほか、これらの普及審判員及び推進員が地域において普及に取り組み、合計で 2,200 件を超える記録申請を受理した。

○平成 29 年度登録者数： 普及審判員 1,580 名
推進員 280 名

⑨受託研修、講師派遣等によるレクリエーションの普及

○介護レクリエーション研修の普及

茨城県、千葉県、千葉市、佐倉市、など介護領域の関連団体からの受託研修、共同企画により、介護レクリエーション研修を実施した。

○教員免許講習への派遣

和洋女子大学、麗澤大宅、大垣短期大学、国立青少年教育振興機構と連係して教員免許講習への講師派遣を行った。

○新カリキュラム研修会への派遣

レク・インストラクター新カリキュラム移行に伴い、都道府県レクリエーション協会へカリキュラム内容の周知と理解を促進する研修会を開催した。

(3) 震災被災地域等での支援活動（[笑顔 Again] プロジェクト）

一昨年4月に発生した熊本地震の被災地への支援活動を昨年度に引き続き、熊本県レクリエーション協会を通じて実施した。また、東日本大震災で甚大な被害を受けた岩手県、宮城県、福島県のレクリエーション協会を中心として、レクリエーション活動を通じた被災者の支援活動（7年目）を実施した。

①熊本地震の支援活動

熊本県レクリエーション協会の協力を得て、支援活動を実施。

支援活動は3月末までで約100回、昨年度と同様の支援活動を実施した。

②活動情報の公開

情報誌 Recrew（レクルー）6月号で、東北3県、熊本県の28年度の報告と29年度実施計画を掲載し、活動の様子を広く周知することができた。

また、2月号で熊本県の支援活動の報告を掲載した。

4. スポーツ・レクリエーション用具・書籍の開発・普及

スポーツ・レクリエーション事業の推進、高齢者施設等におけるレクリエーションプログラムの展開等に、効果的に活用できる用具・書籍を紹介するレクリエーション・カタログ2017を発行し、全国約3万箇所の福祉施設、関連機関・団体へ配布した。

また、全国レクリエーション大会をはじめ、関係団体が実施する大会、会議等を活用した展示ブースにて、様々な用具の展示・体験ブースの設置、販売を行うとともに、幅広くカタログを配布した。

①出展

5月「ゲームマーケット」にブース出展。マンカラ等の用具体験・販売を実施した。

②各種大会における展示コーナー

全国レクリエーション大会（北海道）をはじめ、全国スポーツ推進委員連合が主催する全国大会（茨城県）、生涯スポーツ・体力づくり全国会議（広島県）にてレクリエーション用具の展示コーナーを設置。日本レクリエーション協会オリジナル用具等を紹介した。

5. その他 法人事務

①生涯スポーツ功労者表彰（文部科学大臣表彰）

地域におけるスポーツ・レクリエーションの健全な普及及び発展に貢献し、功績顕著なレクリエーション指導者を日本レクリエーション協会が推薦し、下記の方々が生涯スポーツ功労者として認められ、平成29年10月6日（金）中央合同庁舎第7号館3階講堂（東京都千代田区）にて文部科学大臣より表彰された。

佐藤 武志氏（福島県レクリエーション協会）
田邊 賢一氏（日本スポーツチャンバラ協会）
金井 芳子氏（新潟県レクリエーション協会）
野本 美穂氏（日本ゲートボール連合）
吉岡 友治郎氏（福井県レクリエーション協会）
速水 順一郎氏（兵庫県レクリエーション協会）
鍋島 一仁氏（広島県レクリエーション協会）
朝井 邦子氏（愛媛県レクリエーション協会）
黒木 実馬氏（日本車椅子レクダンス協会）
由川 豊和氏（宮崎県レクリエーション協会）

②レクリエーション運動普及振興功労者表彰（理事長表彰）

レクリエーション運動の普及・発展に多大なる功績をあげた方を、加盟団体より推薦を受け、「第71回全国レクリエーション大会 in 北海道」において、105名、7団体を表彰した。

○被表彰者	都道府県レクリエーション協会推薦	91名
	種目・領域加盟団体推薦による推薦	14名
	市町村レクリエーション協会	7団体

③理事会

- 第1回 平成29年5月23日（木） 14:00～16:00
公益財団法人 日本レクリエーション協会 会議室
・平成28年度事業報告(案)について
・平成28年度収支決算(案)について
・加盟団体の脱退について
- 第2回 平成29年6月14日（水） 14:00～16:00
公益財団法人 日本レクリエーション協会 会議室
・理事長の選任について
・代表理事・業務執行理事等の選任及び報酬について
・第73回全国レクリエーション大会の開催について
- 第3回 平成30年3月8日（木） 14:00～16:00
公益財団法人 日本レクリエーション協会 会議室

- ・平成 30 年度事業計画（案）について
- ・平成 30 年度収支予算（案）について
- ・一般社団法人日本パークゴルフ協会の加盟について
- ・平成 28 年度事業を対象とした振興事業助成金実態調査の調査結果に基づく改善方策について（案）
- ・平成 30 年度定時評議員会の召集について

④評議員会

○定時評議員会 平成 29 年 6 月 7 日（水）14：00～16：00

TKP ガーデンシティ御茶ノ水

- ・平成 28 年度事業報告（案）について
- ・平成 28 年度収支決算報告（案）について
- ・平成 29 年 6 月の理事・監事任期満了に伴う新理事・監事候補について

[都道府県別公認指導者一覧](平成 30 年 3 月 31 日現在)

	所属協会	人数	インストラクター	スポレク指導者	余暇開発士	レクコーディネーター	福祉レクワーカー	延べ数
01	北海道レク協会	2,215	2,148	1	7	97	45	2,298
02	青森県レク協会	892	861	22	2	17	62	964
03	NPO 法人岩手県レク協会	1,038	1,001	11	3	35	67	1,117
04	NPO 法人宮城県レク協会	1,579	1,454	54	4	81	175	1,768
05	秋田県レク協会	551	509	20	3	27	33	592
06	山形県レク協会	495	380	2	3	21	124	530
07	NPO 法人福島県レク協会	1,364	1,298	17	4	41	96	1,456
08	茨城県レク協会	1,174	1,049	12	8	40	211	1,320
09	栃木県レク協会	1,012	971	5	10	37	207	1,230
10	群馬県レク協会	1,029	994	10	7	19	77	1,107
11	NPO 法人埼玉県レク協会	1,644	1,584	12	21	61	93	1,771
12	千葉県レク協会	1,456	1,381	22	31	84	72	1,590
13	NPO 法人神奈川県レク協会	1,870	1,779	38	34	84	74	2,009
14	一般社団法人東京都レク協会	2,745	2,519	50	75	161	205	3,010
15	一般社団法人新潟県レク協会	2,345	2,201	26	55	158	345	2,785
16	NPO 法人富山県レク協会	790	731	22	7	34	30	824
17	一般財団法人石川県レク協会	301	287	14	4	24	32	361
18	福井県レク協会	707	668	9	3	44	154	878
19	山梨県レク協会	268	258	17	4	8	9	296
20	長野県レク協会	1,031	996	23	6	56	51	1,132
21	NPO 法人岐阜県レク協会	1,180	1,152	44	5	46	66	1,313

22	静岡県レク協会	1,601	1,490	40	14	65	213	1,822
23	愛知県レク協会	2,430	2,302	17	11	123	137	2,590
24	一般社団法人三重県レク協会	957	911	3	4	54	89	1,061
25	滋賀県レク協会	392	352	2	5	37	33	429
26	京都府レク協会	738	692	9	8	44	48	801
27	公益財団法人大阪府レク協会	2,285	2,134	33	32	139	132	2,470
28	NPO 法人兵庫県レク協会	2,202	2,114	29	51	76	140	2,410
29	NPO 法人奈良県レク協会	304	288	1	8	15	15	327
30	和歌山県レク協会	421	399	2	3	19	29	452
31	鳥取県レク協会	410	394	1	3	11	35	444
32	島根県レク協会	623	601	4	3	28	35	671
33	岡山県レク協会	984	919	3	12	52	162	1,148
34	広島県レク協会	1,759	1,475	3	29	85	293	1,885
35	一般社団法人山口県レク協会	937	905	25	8	43	82	1,063
36	NPO 法人徳島県レク協会	812	752	20	4	11	59	846
37	NPO 法人香川県レク協会	746	733	7	3	12	23	778
38	NPO 法人愛媛県レク協会	977	949	19	7	21	56	1,052
39	高知県レク協会	646	631	13	0	16	13	673
40	NPO 法人福岡県レク協会	2,277	2,173	9	38	120	91	2,431
41	佐賀県レク協会	496	486	2	4	11	87	590
42	NPO 法人長崎県レク協会	975	943	27	3	27	35	1,035
43	熊本県レク協会	818	804	2	3	19	32	860
44	大分県レク協会	902	873	31	5	33	77	1,019
45	宮崎県レク協会	734	710	1	3	31	30	775
46	鹿児島県レク協会	1,122	1,063	40	9	73	144	1,329
47	沖縄県レク協会	855	819	2	3	48	39	911
48	NPO 法人北九州市レク協会	191	180	1	0	21	5	207
合 計		53,280	50,313	777	569	2,409	4,362	58,430